

## 令和元年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

令和2年6月26日  
地 域 政 策 局

## 1 概要

指定管理者制度を導入した次の施設について、管理運営状況を報告する。

## 2 対象施設

施設の名称	ページ番号
広島県総合グラウンド (愛称: コカ・コーラボトラーズジャパン広島総合グラウンド ~R2.3.31)	2
広島県立総合体育館	8
広島県立広島国際協力センター	14

# 令和元年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

スポーツ推進課

## 1 施設の概要等

施設名	広島県総合グラウンド(愛称:コカ・コーラボトラーズジャパン広島総合グラウンド ~R2.3.31)		
所在地	広島県広島市西区観音新町二丁目 11 番 124 号		
設置目的	スポーツの普及発展と県民の体位の向上を図る		
施設・設備	メインスタジアム, 補助競技場, 野球場, ラグビー場, 運動場 等		
指定管理者	4期目	H28. 4. 1~R3. 3. 31	セイカスポーツセンター・鹿島建物・西尾園芸共同企業体
	3期目	H23. 4. 1~H28. 3. 31	ミズノ・広島県教育事業団グループ共同企業体
	2期目	H20. 4. 1~H23. 3. 31	財団法人広島県教育事業団
	1期目	H17. 4. 1~H20. 3. 31	ポラーノグループ特定共同企業体

## 2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	4期	R1	400,000人	370,518人	△22,241人
H30		398,000人	392,759人	2,182人	△5,241人(98.7%)
H29		395,000人	390,577人	37,472人	△4,423人(98.9%)
H28		392,000人	353,105人	△24,250人	△38,895人(90.1%)
3期平均 H23~H27		315,000人	377,355人	75,525人	62,355人(119.8%)
2期平均 H20~H22		291,000人	301,830人	31,412人	10,830人(103.7%)
1期平均 H17~H19		292,000人	270,418人	26,922人	△21,582人(92.6%)
16(導入前)	—	243,496人	—	—	
増減理由	<p>○新型コロナウイルス感染症の流行による利用者の自粛(専用利用 37,477名減)と屋内施設(2/28よりスポーツ教室・3/7よりトレーニング室・会議室)利用不可などによる減。(スポーツ教室休講 127名減)</p> <p>○補助競技場の公認4種更新改修工事に伴う利用不可による減。(利用不可期間:令和2年1月6日~3月16日(※内5日間のみ使用))</p>				

## 3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
		お客様の声BOXの設置
	施設利用アンケート実施	団体 16件・個人利用 29件
	自主事業アンケート実施	スポーツ教室及び体験受講者・196件
	【主な意見】	【その対応状況】
	トレーニング室の1.25kgのラバープレートが無くなったりまた出てきたりがよくある。	新たに購入し、受付において貸出の管理をすることとした。
	練習用サッカーゴールのバンドの粘着力が弱くなり、外れやすくなっている。	新たにサッカーゴールバンドを購入し、環境整備を図った。

#### 4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次報告書
	日報（必要随時）	○	修繕完了報告書，その他（提案，要望及び苦情等）
管理運営会議 （12回・広島県庁）		【特記事項等】 ・施設利用状況や不具合修繕状況，取組事項などについて，報告と提案，意見交換協議を行った。	
現地調査 （4月，5月，6月，9月，12月，1月，3月に実施）		【指定管理者の意見】 ・引き続き報告と意見交換協議を実施。  【県の対応】 ・労働条件チェック（平成31年4月） ・施設視察（令和元年5月） ・陸上競技場公認打合せ（令和元年6月） ・メキシコパラリンピック委員会視察（令和元年6月） ・陸上競技場公認備品確認（令和元年9月） ・補助競技場4種公認備品確認（令和元年12月） ・令和2年度 専用利用調整会議及び意見交換協議（令和2年1月） ・補助競技場4種公認検定確認（令和2年3月）	

#### 5 県委託料の状況

（単位：千円）

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
県委託料 （決算額）	4期	R1	87,015	496	料金 収入 （決算額）	4期	R1	18,150	△820
		H30	86,519	8			H30	18,970	△631
		H29	86,511	△989			H29	19,601	2,288
		H28	87,500	7,416			H28	17,313	100
	3期平均 H23～H27		80,084	2,857		3期平均 H23～H27		17,213	1,810
	2期平均 H20～H22		77,227	△19,397		2期平均 H20～H22		15,403	△1,323
	1期平均 H18～H19		96,624	△62,146		1期平均 H18～H19		16,726	△529
	H17（導入前）		158,770	—		H17（導入前）		17,255	—

## 6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R1 決算額	H30 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	87,015	86,519	496	消費税増税に伴う増
		料金収入	18,150	18,970	△820	利用料金制（※1） 新型コロナウイルス感染症の影響による減
		その他収入	2,888	3,218	△330	工事等に伴う営業補償の減
		計(A)	108,053	108,707	△654	
	支出	人件費	31,800	31,200	600	人件費見直しによる増
		光熱水費	10,800	13,249	△2,449	メインスタジアム漏水改善による水道代減
		設備等保守点検費	19,868	19,716	152	維持管理委託料見直しによる増
		清掃・警備費等	43,953	43,453	500	維持管理委託料見直しによる増
		施設維持修繕費	1,975	2,187	△212	自主作業による減
		事務局費	1,876	2,070	△194	経費節減取組による事務費の減
		その他	2,473	2,646	△173	諸経費の減
		計(B)	112,745	114,521	△1,776	
		収支①(A-B)	△4,692	△5,814	1,122	
	自主事業 (※2)	収入(C)	6,671	6,120	551	スポーツ教室及びスポーツイベント参加者の増
支出(D)		3,042	2,015	1,027		
収支②(C-D)		3,629	4,105	△476		
合計収支(①+②)		△1,063	△1,709	646		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	<p>条例及び管理規則, 仕様書に則り, 利用申請や料金収受, 許可証発行等を適正に実施した。また, 行事打ち合わせでより安全に運営しやすいように打合表を更新して, 設置目的に沿った利用受付を行った。</p>	<p>施設の設置目的に沿った管理運営及び利用促進が行われている。</p> <p>令和元年度の利用者数は, 計画を達成する見込みで推移していたが, 新型コロナウイルス感染症の影響による大幅な利用者数の減により, 目標値を達成することはできなかった。</p>
	○業務の実施による, 県民サービスの向上	<p>自主事業のスポーツ教室使用の会議室をタイルカーペット設置により, より良く利用しやすい環境づくりに努めた。低学年から高学年までを対象としたサッカー大会やラグビー大会を実施したほか, 指定管理者のノウハウを活かした成人スポーツ教室を実施し, 健康づくりと体力向上に寄与した。また, 町内会の祭りや町内総会に参加して, 交流の輪を広げた。</p> <p>県民が参加できる夏祭り事業「ひろスタサマーフェスティバル」を2年ぶりに開催し, 町内会と連携し地域貢献に努めた。</p>	<p>アンケートやモニタリングにより利用者のニーズを把握し, スポーツ教室等の環境整備などに取り組んでいる。</p> <p>また, 近隣地域と連携したイベントの開催等を行い, 地域の活性化に寄与している。</p>
	○業務の実施による, 施設の利用促進	<p>補助競技場と運動場の利用促進を図るため, 施設無料開放日(6月, 9月)を実施した。新たにランニング講座を実施して, お客様同士の仲間づくりや走力アップに努めた。(自主事業)</p>	<p>施設の無料開放や新たなスポーツ教室の開設などにより利用者の増加につながっている。</p>
	○施設の維持管理	<p>メインスタジアム階段ノンスリップ剥がれ改修や野球場階段タイル外れ改修し, 利用に支障をきたさないよう対応した。積極的な自主修繕を実施し, トレーニング室のベンチ改修や野球場ラバー修理と各種塗装作業も実施した。また, 清掃巡回を強化し施設の美観向上に努めた。</p> <p>各施設の使用不可トイレのフラッシュバルブをすべて交換して使用できるようにした。県総合グラウンド内の外灯安定器交換やバリカー修繕により, 利用者の安全管理に努めた。</p> <p>緑地帯の害虫(チャドクガ)駆除を適宜実施した。来年度に樹木名札作成のため総合グラウンド内の樹木数をすべて確認して一覧表にした。前年より土壌環境を向上させ芝生の品質管理維持に努めた。</p>	<p>利用者からの要求や劣化状況により, 優先度をつけ, 迅速に修繕等の対応をしている。</p> <p>積極的な自主修繕を行い, 利用環境の改善や安全管理に努めている。</p> <p>芝の維持管理については, 計画を上回る回数の業務を実施している。</p>

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	仕様書に則り, 適正な体制を取ることができた。	職員の配置, 緊急時の連絡体制整備は仕様書及び事業計画書に沿って適切になされている。
	○効率的な業務運営	スムーズな利用受付と事前打ち合わせにより, 利用者サービスの向上に努めた。 所内研修では, 消防訓練や新人研修期間を2か月設けて, 安全管理や施設管理のレベルアップに努めた。	利用者の立場に立った丁寧な対応を行っている。 また, 各種研修の実施等により利用者の安全確保体制の強化を図るなど, 利用者サービスの向上に努めている。
	○収支の適正	全体調整を行いながら適正な予算管理に努めた。	適正な予算管理に努めている。
総括		自主事業では, 指定管理者のノウハウを活かし, 県民のニーズに沿った健康づくりスポーツ教室や各種スポーツ大会, イベント事業等を展開, 実業団との連携により, 各種スポーツの普及と振興, 健康づくりに努めた。 また, 新型コロナウイルス感染予防対策に最善をつくして, 県との連携を図った。 引き続き, 県との報告や相談等を行い, 共通理解と関係性を構築し, 連携を図っていききたい。	指定管理者のノウハウを活かした健康増進と体力向上に寄与するスポーツ教室やイベントを多数実施している。 また, 地域への広報活動を活発に行い, 利用者数の増加につなげている。 施設整備については, 施設の劣化状況を把握し, 優先度や利用者のニーズに応じ修繕を行っている。

## 8 今後の方向性 (課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和2年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○不具合箇所等の修繕対応</li> <li>○事業計画に沿った提案業務の遂行</li> <li>○自主事業展開による利用促進とスポーツ振興及び普及への貢献, 地域との連携等</li> <li>○施設内での環境整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業計画の着実な実施</li> <li>○目標達成に向けた利用者増加への取組</li> </ul>
中期的な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○設備機器の不具合及び改修等の報告及び提案, 協議の実施</li> <li>○経費縮減取組対応と提案等</li> <li>○芝管理向上の取組と提案等</li> </ul>	施設設備の計画的な修繕

## 令和元年度 広島県総合グランド利用状況

区 分		利用者数 ※( )は30年度		
メインスタジアム	専用利用	アマスポーツ	117,172 ( 136,286 )	
		アマスポーツ以外	5 ( 90 )	
		小 計	117,177 ( 136,376 )	
	個人利用	小中高	19,122 ( 14,318 )	
		一般	5,988 ( 5,456 )	
		小 計	25,110 ( 19,774 )	
	合 計		142,287 ( 156,150 )	
	トレーニング室	専用利用	アマスポーツ	0 ( 0 )
			アマスポーツ以外	0 ( 0 )
			小 計	0 ( 0 )
		個人利用	小中高	1,197 ( 928 )
			一般	8,243 ( 7,420 )
小 計			9,440 ( 8,348 )	
合 計		9,440 ( 8,348 )		
野球場	専用利用	アマスポーツ	50,802 ( 47,255 )	
		アマスポーツ以外	32 ( 7 )	
		小 計	50,834 ( 47,262 )	
	個人利用	小中高	0 ( 0 )	
		一般	0 ( 0 )	
		小 計	0 ( 0 )	
合 計		50,834 ( 47,262 )		
ラグビー場	専用利用	アマスポーツ	73,888 ( 84,105 )	
		アマスポーツ以外	0 ( 0 )	
		小計	73,888 ( 84,105 )	
	個人利用	小中高	0 ( 0 )	
		一般	0 ( 0 )	
		小 計	0 ( 0 )	
合 計		73,888 ( 84,105 )		
補助競技場	専用利用	アマスポーツ	42,871 ( 57,911 )	
		アマスポーツ以外	0 ( 0 )	
		小 計	42,871 ( 57,911 )	
	個人利用	小中高	5,714 ( 5,174 )	
		一般	1,822 ( 1,805 )	
		小 計	7,536 ( 6,979 )	
合 計		50,407 ( 64,890 )		
運動場	専用利用	アマスポーツ	42,720 ( 31,321 )	
		アマスポーツ以外	20 ( 0 )	
		小 計	42,740 ( 31,321 )	
	個人利用	小中高	735 ( 540 )	
		一般	187 ( 143 )	
		小 計	922 ( 683 )	
合 計		43,662 ( 32,004 )		
専用利用 合計		327,510 ( 356,975 )		
個人利用 合計		43,008 ( 35,784 )		
総 計		370,518 ( 392,759 )		

## 令和元年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

スポーツ推進課

### 1 施設の概要等

施設名	広島県立総合体育館		
所在地	広島市中区基町4番1号		
設置目的	体育その他一般の利用に供する		
施設・設備	大アリーナ, 小アリーナ, 武道場, 弓道場, 健康・体力サポートセンター, フィットネスプラザ, 会議室, スポーツ情報センター, 売店, 駐車場 等		
指定管理者	4期目	H31.4.1~R6.3.31	(公財) 広島県教育事業団
	3期目	H26.4.1~H31.3.31	(公財) 広島県教育事業団
	2期目	H21.4.1~H26.3.31	(公財) 広島県教育事業団(H25.4.1~)
	1期目	H18.4.1~H21.3.31	(財) 広島県教育事業団

### 2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	4期	R1	2,000,000人	1,690,963人	△264,628人	△309,037人 (84.5%)
増減理由	3期平均 H26~H30		2,230,000人	1,955,591人	△64,727人	△274,409人 (87.7%)
	2期平均 H21~H25		1,940,000人	2,020,318人	380,802人	80,318人 (104.1%)
	1期平均 H18~H20		1,993,000人	1,639,516人	197,786人	△353,484人 (82.3%)
	H17 (導入前)		—	1,441,730人	—	—

○ 令和元年度の利用者は、前年度に比較して200,389人減の約1,690,000人となった。大きな原因としては、2月下旬からの新型コロナウイルス感染症拡大防止のための自粛によるイベント中止やアマチュアスポーツ等のキャンセルによる影響が大きいと考えられる。

○ アマチュアスポーツの全国大会は、FIFA ワールドカップ 2019 男子大会 (約70,000人)、Vプレミアリーグ (約17,000人)、全日本レディースバドミントン選手権大会 (約8,000人) 等が開催され、集客を得ることができたが、ひろしまオープン卓球大会、全国小学生ドッジボール大会などの大会で、約20,000人以上の利用者を見込んでいたが、新型コロナウイルス感染症が全国で拡大したため、中止となった。

○ アマチュアスポーツ以外では、前年度と同等数のイベントが予定されていたが、3月以降、マイナビ、講演会のイベントが軒並み中止となった。

### 3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
		自主事業開催時のアンケートの実施
	ボランティアスタッフのアンケート調査	事業参加者 約190人
	利用者意見箱の設置	施設利用者 45件
	利用者アンケートの実施	施設利用者 287件
	モニターへのアンケートの実施	公募モニター 20人
	競技団体・マスコミ等と意見交換(運営協議会)	利用団体代表者 10人
	【主な意見】	【その対応状況】
	射場にあるパーテーションの足が壊れている。(3/8)	危険と判断し、一時撤去。新しいものを購入した。(3月末)
	トイレの洋式の数を増やしてほしい。(10/20)	洋式トイレへの改修については、計画的に進めており、今年3月に大アリーナの1F、B1F計10ヶ所を和式から洋式に変更した。

#### 4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務報告書
	日報（必要随時）	○	従事職員の異動等
管理運営会議（12回・現地）	<b>【特記事項等】</b> 利用者の意見を取り入れた整備，改善 <b>【指定管理者の意見】</b> 施設設備の状況を把握し，修繕の優先度を提案。照明器具LED化実施（地下駐車場）。 <b>【県の対応】</b> 施設設備の計画的な修繕の実施		
現地調査（5月，7月，8月，9月，10月，11月，12月，3月に実施）			

#### 5 県委託料の状況

（単位：千円）

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	4期	R1				4期	R1		
県委託料 (決算額)	4期	R1	153,546	18,685	料金 収入 (決算額)	4期	R1	419,451	△49,452
	3期平均 H26～H30		134,861	15,085		3期平均 H26～H30		468,903	22,661
	2期平均 H21～H25		119,776	△27,350		2期平均 H21～H25		446,242	12,065
	1期平均 H18～H20		147,126	△265,212		1期平均 H18～H20		434,177	45,205
	H17（導入前）		412,338	—		H17（導入前）		388,972	—

## 6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目		R1 決算額	H30 決算額	前年度差	○主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	153,546	171,162	△17,616	指定管理委託料の減
		料金収入	419,451	445,027	△25,576	利用料金制(※1) 新型コロナウイルス感染症の影響による減
		その他収入	50,260	46,683	3,577	工事等に伴う営業補償の増
		計(A)	623,257	662,872	△39,615	
	支出	人件費	69,510	61,984	7,526	職員採用による増
		光熱水費	126,676	139,038	△12,362	電気料金の減
		設備等保守点検費	136,791	121,581	15,210	維持管理委託料見直しによる増
		清掃・警備費等	196,543	191,408	5,135	維持管理委託料見直しによる増
		施設維持修繕費	55,091	108,396	△53,305	修繕費の減, 備品購入費の減
		事務局費	32,429	37,299	△4,870	賃借料の減
		その他	32,529	27,092	5,437	事務局共通経費の増
		計(B)	649,569	686,798	△37,229	
		収支①(A-B)	△26,312	△23,926	△2,386	
	自主事業 ※2	収入(C)	43,464	44,019	△555	新型コロナウイルス感染症の影響による減
支出(D)		55,731	60,621	△4,890		
収支②(C-D)		△12,267	△16,602	4,335		
合計収支(①+②)		△38,579	△40,528	1,949		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	自主事業では、新規事業として著名人を講師に迎えたダンスイベントを実施し、幅広い世代にグリーンアリーナを身近に感じてもらえる機会を提供した。また、シニア世代の健康づくり事業を実施するなど、ニーズに合った事業を継続的に実施した。	アンケートやモニタリングにより利用者のニーズを把握し、新たなイベントの実施に取り組んでいる。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	利用者ニーズに対応し、施設のトイレの洋式化工事を計画的に実施した。	利用者のニーズを把握したうえで、利用環境の整備を進め、利用満足度の向上及び利用促進を図っている。
	○業務の実施による、施設の利用促進	施設利用は、2月下旬からの新型コロナウイルス感染症拡大防止のための自粛によるイベント中止やキャンセルにより前年度から約 200,000 人減の約 1,690,000 人となった。	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が目標値に達しなかったとともに、前年度よりも大幅減となった。
	○施設の維持管理	維持管理については、専門家による建物診断を行い、大規模修繕工事のトータル管理による建物長寿命化とライフサイクルコスト削減に努めた。	施設整備の劣化状況を把握し、優先度や工法について県に対し提案を行ったほか、自らも計画的な修繕を実施した。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	館長、副館長、館長補佐により交代勤務で駐在し、運営経験に即した適材適所の人材配置をし、協力企業も含めた全職員が危機事案等に迅速に対応できる体制を維持する管理運営を行った。	職員の配置、緊急時の連絡体制整備は、仕様書及び事業説明書に沿ってなされており、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応では臨機応変に適切な対応をしている。
	○効率的な業務運営	無駄な電力消費を減らすためにトイレの人感センサー化を計画的に実施することで、管理経費やCO2排出量の削減を図った。	指定管理業務について、指定管理料の範囲内で適正に実施するため、効率的な営業運営を行うとともに、計画を上回る修繕を実施している。
	○収支の適正	収支については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため施設利用に自粛要請があり、2月末から続々とキャンセルが増え、3月はほぼ収入が見込めず財政的に大変厳しい状況となった。	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が大幅に減少したことに伴い、収入も大幅に減少し、財政的に厳しい状況となった。
総括		指定管理者として掲げる「安全・信頼・快適の「深化」とにぎわいの拠点づくり」を目指した運営を構築するため、職員が一致団結して業務に取り組み、受託業者も含めた施設の安全な維持管理を徹底してきた。 しかし、全国的に新型コロナウイルス感染症が収まらない状況の中、3月7日からフィットネスプラザの休業と、他施設も利用自粛が続く、長期化が予想される中で見通しが立たないため、経営状況が厳しくなっている。	施設の維持管理について、適切に行われている。 利用者数については、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に目標値を下回っているが、終息後の対策も踏まえ、利用促進に向けた取組が必要である。

## 8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
<p>短期的な対応 (令和2年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第4期指定管理者としてこれまでの実施状況を検証するとともに継続運営に全力を尽くす。</li> <li>○ 提案書に沿った、LED照明、人感センサー、トイレの洋式化等を段階的に実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した事業の実施</li> <li>○ 利用者数増加への取組</li> </ul>
<p>中期的な対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 経年劣化が著しい設備関係の修繕計画と実施に向けて積極的に取り組む。</li> <li>○ 改修工事を進めておりましたスポーツ情報センターを当館の新規事業に連動させて活用する。</li> </ul>	<p>施設整備の計画的な実施</p>

## 令和元年度 広島県立総合体育館利用状況

区 分		利用者数	※( )は30年度
大アリーナ	専用利用・区分利用	999,005	( 1,057,723 )
	個人利用	0	( 0 )
	合 計	999,005	( 1,057,723 )
小アリーナ	専用利用・区分利用	201,418	( 245,228 )
	個人利用	0	( 0 )
	合 計	201,418	( 245,228 )
武道場	専用利用・区分利用	217,558	( 295,161 )
	個人利用	321	( 309 )
	合 計	217,879	( 295,470 )
弓道場	専用利用・区分利用	47,010	( 42,670 )
	個人利用	4,516	( 4,615 )
	合 計	51,526	( 47,285 )
トレーニングルーム	専用利用・区分利用	32,303	( 29,650 )
	個人利用	51,543	( 59,257 )
	合 計	83,846	( 88,907 )
プール	専用利用・区分利用	34,885	( 43,004 )
	個人利用	12,755	( 14,861 )
	合 計	47,640	( 57,865 )
健康体力相談室	専用利用・区分利用	0	( 0 )
	個人利用	2,706	( 2,867 )
	合 計	2,706	( 2,867 )
会議室	専用利用・区分利用	75,594	( 82,464 )
	個人利用	0	( 0 )
	合 計	75,594	( 82,464 )
ミーティングルーム	専用利用・区分利用	7,516	( 7,587 )
	個人利用	0	( 0 )
	合 計	7,516	( 7,587 )
スポーツ情報センター等	専用利用・区分利用	0	( 524 )
	個人利用	3,833	( 5,432 )
	合 計	3,833	( 5,956 )
専用利用, 区分利用 合計		1,615,289	( 1,804,011 )
個人利用 合計		75,674	( 87,341 )
総 計		1,690,963	( 1,891,352 )

# 令和元年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

国際課

## 1 施設の概要等

施設名	広島県立広島国際協力センター		
所在地	東広島市鏡山三丁目3-1		
設置目的	国際人材の養成, 県民の国際化及び国際協力の推進		
施設・設備	大研修室(収容人数60名)1室, 中研修室(収容人数24名)5室, 小研修室(収容人数12名)6室, キッチン交流室(収容人数24名)1室, 宿泊室73室, 体育館, NGO交流室, 情報センター・図書室		
指定管理者	4期目	H31.4.1~R6.3.31	(公財)ひろしま国際センター
	3期目	H26.4.1~H31.3.31	(公財)ひろしま国際センター
	2期目	H21.4.1~H26.3.31	(公財)ひろしま国際センター(H25.4.1~公財)
	1期目	H18.4.1~H21.3.31	(財)ひろしま国際センター

## 2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	研修受講者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	4期	R1	1,200人	938人	△239人	△262人(78.2%)
3期平均	H26~H30	1,080人	1,177人	389人	97人(109.0%)	
2期平均	H21~H25	1,000人	788人	△130人	△212人(78.8%)	
1期平均	H18~H20	—	918人	△22人	—	
	H17(導入前)	—	940人	—	—	
増減理由	自主事業等の研修受講者数の減					

## 3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	<b>【実施方法】</b>	<b>【対象・人数】</b>
	研修受講者等へのアンケート	研修受講者等・延べ5,072人
	<b>【主な意見】</b>	<b>【その対応状況】</b>
	研修については概ね満足しているとの回答であった。また、施設やフロントのサービスに対する満足度も高かった。	利用者の満足度を更に高められるよう研修内容等の充実を行う。

## 4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	施設利用状況
	日報(必要随時)	○	施設内での事故等
管理運営会議(2回)	<b>【特記事項等】</b> ・施設の管理・運営の業務においては, 日々の施設運営を踏まえながら, 長期的な観点から効率的かつ適切に施設の維持保全を行っていく必要がある。 <b>【指定管理者の意見】</b> ・施設の効率的かつ適切な維持管理を行っていくために, 日常の施設管理に当たって県と密接な連携を取っていきたい。		
現地調査(概ね月1回)	<b>【県の対応】</b> ・落雷により故障した電話交換機の更新を行った。 ・外壁劣化度調査及び外壁改修の実施設計委託, 真空遮断器保護継電器の実施設計委託を行った。		

## 5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	4期	R1	166,200	677		4期	R1	21,311	△272
県委託料 (決算額)	3期平均 H26～H30		165,523	1,850	料金 収入 (決算額)	3期平均 H26～H30		21,583	△117
	2期平均 H21～H25		163,673	△13,262		2期平均 H21～H25		21,700	△1,720
	1期平均 H18～H20		176,935	△16,398		1期平均 H18～H20		23,420	△2,410
	H17 (導入前)		193,333	—		H17 (導入前)		25,830	—

## 6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R1 決算額	H30 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	166,200	165,523	677	消費税増税による増 (R1. 10～ 8%→10%)
		料金収入	21,311	28,221	△6,910	利用料金制(※1) 宿泊者減に伴う収入の減
		その他収入	394	567	△173	コピー代収入の減等
		計(A)	187,905	194,311	△6,406	
	支出	人件費	85,644	96,400	△10,756	職員の育休取得,嘱託員の減等
		光熱水費	12,925	14,609	△1,684	電気使用量の減等
		設備等保守点検費 清掃・警備費等	56,083	49,554	6,529	設備更新委託経費の増等
		施設維持修繕費	5,402	6,333	△931	小規模修繕の減
		事務局費	24,283	18,153	6,130	消費税率引上げ,備品更新に伴う増等
		その他	258	46	212	銀行振込手数料の増
		計(B)	184,595	185,095	△500	
		収支①(A-B)	3,310	9,216	△5,906	
	自主事業 (※2)	収入(C)	29,814	40,141	△10,327	研修受講者数の減
		支出(D)	24,880	42,142	△17,262	
収支②(C-D)		4,934	△2,001	6,935		
合計収支(①+②)		8,244	7,215	1,029		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。  
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び  
指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

## 7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の 効用 発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	受託事業を着実に実施するとともに、自主事業の実施に積極的に取り組み、施設の設置目的に沿った業務の遂行に努めた。	新たな交流事業や研修コースの実施など、施設の設置目的に沿った利用促進が図られている。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	県民の国際化を推進するため、国際協力センターを拠点に地域交流事業を実施した。	利用者アンケート等を踏まえ、サービス向上を図りながら地域交流事業を実施している。
	○業務の実施による、施設の利用促進	県や県内外の大学、海外の教育機関等からの研修を積極的に受け入れ、自主事業の拡大に努めた。また、政府が実施しているシリアからの難民を留学生として受け入れ、定住させるための日本語研修を実施した。	自主事業において研修受講者数などの利用実績が減少しており、利用促進に向けた取組の強化が必要である。
	○施設の維持管理	施設の機能が十分発揮できるよう、設備管理、フロント、警備、清掃等の各業務の適切な実施に努めた。	緊急時の対応を含め、適切に維持管理がなされている。
管理の 人的 物的 基礎	○組織体制の見直し	繁忙期には、職種や課を超えて効率的な業務の執行を図った。	状況に応じた効率的な業務の執行に努めている。
	○効率的な業務運営	情報セキュリティに関する国際規格 ISO27001 を運用し、再認証をうけ、情報セキュリティの維持・強化に努めた。	PDCA サイクルを回すことにより、情報セキュリティを維持・強化するための取組がなされている。
	○収支の適正	研修受入など自主事業の積極的な取組などにより、施設の利用促進を図り、収支を黒字とした。	今後も施設の一層の利用促進を図る必要がある。
総 括		施設の設置目的に沿った利用促進策や、効率的な業務運営に取り組んでいる。	施設利用について国内外に積極的に PR 活動を行い、研修受講者数の増加による宿泊室、研修室の利用促進を図る必要がある。 引き続き、効率的な業務運営が必要である。

## 8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
<p>短期的な対応 (令和2年度)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、研修等の需要が大きく落ち込むことが見込まれるところであり、今後の動向を踏まえながら、これまでに研修を受入れた大学や海外教育機関等への営業活動のほか、新たな研修利用の開拓に向けて、国内外に積極的に研修事業や施設利用についてPR活動を行い、研修等利用の確保を図っていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルス感染症予防対策を指定管理者と共に検討していくとともに、終息後の利用促進を図るため、指定管理者が必要とする情報を迅速に提供するなど、指定管理者への働きかけを強化する。</li> <li>○ 長期保全計画に基づいて、今年度に予定されている外壁改修工事などの大規模修繕工事を着実に実施する。</li> </ul>
<p>中期的な対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県の国際化施策の方向性を踏まえながら、施設の設置目的を達成するため、研修員のニーズ等に応じた研修プログラム・内容を設定し、内容や成果等について検証、改善を図りつつ、研修の目的が十分達成されるよう質の高い研修の提供に取り組む。</li> <li>○ 研修、文化体験・地域交流を通じて県民が直接外国人と交流する機会や外国人研修員等が日本の文化等を体験する機会を創出し、県民の国際化や国際相互理解を促進する。</li> <li>○ 長期的な施設保全の観点から、施設の適切な維持保全に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中長期的な観点で施設利用が促進されるよう、県の施策である外国人との共生推進や留学生の受入・定着等を通じて指定管理者と連携していく。</li> <li>○ 長期的な施設保全の観点から、長期保全計画に基づく大規模修繕工事を計画的に実施する。</li> </ul>